

障がい者に与えられた賜物と使命



吉田 実

(日本キリスト改革派神戸長田教会)

2016年7月に相模原で起こりました障がい者施設殺傷事件は多くの人々に強い衝撃を与えました。「障がい者のために金が使われるのは無駄」「重複障がい者が生きて行くのは不幸」というような、容疑者の供述の言葉を聞いて私は、かつてナチス・ドイツがユダヤ人虐殺の準備段階で行った「安楽死作戦」を思い出しました。不治の病や重い障がいのある人間は社会の役に立たない「劣等人間」とみなされ、そういう人間のために国家が金を使うことは全くの無駄遣いであると判断し、「消毒」という呼び方で1945年までに約20万人の重病患者や障がい者の命が奪われたとされています。「消毒」ということは、病人や障がい者を人間ではなく「バイキン」扱いたということです。このような、人間の存在価値を「能力」や「生産性」で計ろうとする人間観に基づいて多くの障がい者や病人の貴い命が奪われたという歴史の事実、深い悲しみと憤りと恐怖を覚えます。そしてこのたびの事件の容疑者の言葉の中に、共通する「ゆがんだ人間観」を私は感じるのですが、もしかするとこの事件は「あの犯人が異常な人間だった」ということでは済まない、もっと根の深い問題を背後に抱えているのではないかと思います。たとえ大きな事件にはならなくても、同じように人間の存在価値を「能力」や「生産性」で計ろうとするような価値観・人間観は、今も様々なところで人を支配し、傷つけているからです。

我が家の19歳になる息子は重度の知的障がいを伴う自閉症者です。言葉によるコミュニケーションは全くできませんし、自閉症者独特の様々なこだわりがありますので、生活上色んな苦勞がありますけれども、一緒に暮らす中で彼には彼の世界があり、彼なりの必然性の中で生きているのであり、何よりも神にかたどって造られた同じ人間であるということをしみじみ感じます。人間の存在価値は決して「能力」や「生産性」などで計られるものではなく、神に似た者として神にかたどって造られたということにその根拠があるのであり、そういう意味では「生きるに値しない命」など存在しないのです。人は重度の障がいがあるうと、不治の

病があるうと、年齢を重ねて寝たきりになると、「神のかたち」であることには変わりはないからです。

さらに、「三位一体の神」にかたどって造られた人間は必然的に「共に生きる」のであり、「共同体」を形成して生きる存在です。ということは、同じ「神のかたち」である障がい者も「共に生きる」べき存在であり、そのために共同体が努力するという事は、単なる「弱者への配慮」ではなく、その共同体が「神のかたち」として回復され成長して行く道筋を歩むということなのです。人間は「類は友を呼ぶ」というような排他的な集団ではなく、様々な違いを持つ者たちが助け合い支え合いながら共に生きる時にこそ、真の意味で人間らしく生きることが出来るのです。そういう意味では、障がい者や高齢者、病を持つ人など、様々な弱さを抱えた人の存在は、その共同体に「神のかたちの回復」をもたらせる契機を与えてくれる、特別な賜物を与えられた人々と言えるでしょう。従いまして、教会が彼らと共に礼拝を捧げ、共に生きるということを実践に考え努力するという事は、教会全体の成長と、他のすべての人々の幸いに繋がります。特に様々な競争の中で疲れた現代人にとって、知的障がい者はその存在そのものを通して「主の道を整えよ」と叫ぶ、荒野に響く預言者の声のような気がしてなりません。キリスト教会こそ、そのような彼らの声に真っ先に反応し、「共に生きる」道筋を整え、その豊かさを世に証し出来るような「暗闇の中の光」にならなければならないと、強く思われています。

神戸YWCA
みんなで祝おう
クリスマス

日時 12月3日(土)

会場 神戸YWCA会館5階

参加費 500円

◆ 讃美礼拝

◆ 「聖句と讃美のクリスマス」

◆ ティータイム

◆ クリスマスマーケット

◆ ケーキやクリスマスカードなど

第58回神戸市民クリスマス

キャロリング in KOBE

『みんなで祝おうクリスマス』

日時 12月16日(金)

17時～21時30分

会場 カトリック神戸中央教会

入場無料(ごなたでもご参加いただけます)

http://www.kobeywca.org/
shiminxmas/

「若年性認知症の人の思いと願い ～私らしく生きていくために、今必要なこと」

10月15日(土)本館にて、若年性認知症の当事者お二人とNPO法人「認知症の人とみんなのサポートセンター」代表の沖田裕子さんを迎えて、フォーラムを開催した。

沖田さんは、早期発見・診断により、仕事や役割を失くし生活に大きな変化をきたしても、相談するところもなく居場所もないなど「早期絶望」とならないよう、様々なサービスを利用できるまでの「空白の期間」に大きな課題があると話された。

認知症は徘徊や妄想、何もできない、意思の疎通が困難などのイメージを持つ方も多いと思うが、それは間違いである。当事者の方はその思いを自ら発信されている。シンポジウムで当事者のお二人も、診断直後のショック、仕事を続けたくても出来ない辛さ、家族の事や経済面での生活の不安、社会から取り残される疎外感、将来への不安などを語られた。認知症により不自由や困難もあるが、今までの経験や培ってきたも



のは十分発揮できるし、社会との関係性の継続で生き生きと暮らすことができる。お二人が口をそろえて言われたことは「今は楽しい!」であった。私たちも、仲間として「楽しい」を共有し、共に歩みたいと思う。当日の参加者は58人。(沖本 雅子)

どうなってるの、今の日本!?! Vol.3 「結婚」って!?!



11月2日(水)、神戸市青少年会館で行われた第3回目の「どうな

てるの、今の日本!?!」は、自分と社会とのつながりについて考えるため、私たちに身近な社会制度「結婚」を取り上げた。

当日はさまざまな層の方々、19人が参加した。グループディスカッションの形式で進行する際、初対面同士で話し合いが弾むか不安であったが、どのグループも熱心に話し合っており、時間を区切って止めるのが惜しいくらいの様子であった。憲法24

条の自民党憲法改正案が持つ問題(家族の助け合い義務付け、両性の合意のみに基づく結婚の「のみ」が外されていること等)を提起し、それらについても話し合うことができた。

多様な意見の交換ができた今回の内容を糧に、今後も自分たちの言葉で平和や人権問題について話し合える場をつくっていききたい。

(山本 かえ子)



1984年神戸YWCA日本語教師養成セミナーを修了して日本語を教え始め、いつの間にか30

数年経ってしまいました。

上筒井の洋風の素敵な木造建物で床の軋みを踏みしめながらの授業、まだ外国人留学生が珍しい時でした。

88年4月には神戸YWCA学院専門学校が、新しく建て替わった白亜の校舎で開講され、それからは学生数が鰻上りに増えていきました。

その後20年間YWCAでお世話になり、学生たちと接して教わることも多く、視野が広がって世界のできごとが身近に感じられるよ



うになりました。

この写真は87年に教えた学生が卒業後集まった時のもの。学生たちとは今でも交流があり、日本に来たら訪ねてくれます。立派になっているのを見て時の流れを実感、教師冥利に尽きる瞬間です。

(長野 尚代)

日本語教育研修会 「子どものための 日本語教育」

11月13日(日)に開催された神戸YWCA学院同窓会・神戸YWCA学院共催の日本語教育研修会では、「子どものための日本語教育」と題して、学院日本語コースの「勉強に役立つ日本語」クラスと、神戸市内の小学校の日本語教室での実践報告をしました。

また、グループに分かれて、成人の日本語教育との違いや、指導上の注意点などを考えてもらいました。「外国につながるのある子ども」に対する日本語支援がホットな話題ということもあり、参加者21人はみな活発に話し合われました。有意義な時間になったと思います。

「勉強に役立つ日本語」については、今年度の報告書が先日できあがりしました。興味のある方は2階の事務所まで。(学院同窓会会長・福井 武司)

❖ 全国 YWCA 会員総会

11月18～20日、東京YWCAで開かれた第32回全国会員総会に神戸YWCAから9人が参加した。特に印象的だったのは若い人たちの活躍である。豊かな可能性と力を持つ彼女たちを支え、表舞台に送り出すために、私たちの働きはどうあるべきなのだろうか。全国の仲間たちとつながり学び合うことで、未来が広がる。

今期日本YWCA運営委員に神戸から天川啓子さん、梅澤昌子さんが選出された。また、長くYWCAの活動に貢献された渡邊順子さんも出席され「Y's Wonderful Women賞」を受賞。オープンプログラムでは神戸YWCAの憲法出前授業を紹介、好評であった。(掛橋 智佳子)

❖ 世界 YMCA/YWCA 合同祈禱週

合同祈禱週のテーマは「誰も置き去りにしない」。11月15日(火)の神戸YMCA/YWCA合同礼拝のメッセージは吉田実牧師(日本キリスト改革派神戸長田教会)より「主と共に、隣人と共に」。「誰も置き去りにしない」は実現不可能のように思えるが、私たちが会おう人たちが、隣人であり、その人たちと共に、関わっていくことが誰も置き去りにしない社会になっていくのだと気づかされ、励まされた。また、講演会では、吉田牧師が自閉症の息子さんを通して、障がい者を置き去りにしないで、共に生きる道を探りながら歩まれている姿勢に心打たれた。(野村 春美)

❖ 10月10日(月・祝) 秋のバザー 2016

今年のバザーは準備期間が短かっ

セカンドハウス



夏にセカンドハウスを利用してくれたお子さんからの贈り物。草をハートの形に編んで「ありがとう」を伝えてくれました。

神戸YWCA被災者支援プロジェクト

今年、セカンドハウスの利用者家族数が30を切りました。福島で日々の生活を送り、その上で県外保養に出ることは経済的にも体力的にも並大抵のことではありません。各々が持続可能な形での保養を選んでいる証拠かもしれません。その中でセカンドハウスを選んでくれる人、また新しい問い合わせがあることはうれしいことです。

年末年始には2家族が来神します。心をこめてお迎えします。

(西本 玲子)

たにも関わらず、なんとか皆さまのお力で開催することができた。来場された方々の「楽しかった。懐かしい人に会えた」と言う声が聞け、安堵した。しかし、バザーはまだ終わっていない。今、次年度への継続、新たに繋がるよう関係各位に働きかけをしているところだ。そして、今回のバザーを分析している。準備の簡素化、準備時間の削減、各々の負担を失くす。新しい世代の参加が課題だ。会員全体でこの問題について話し合えたら、もっと素敵な集いにな

ると思う。来場者294人。

(小川 佐由理)

❖ ◆ 会員の皆さま ◆ 次期運営委員・指名委員候補者推薦のお願い

成人会員(18歳以上)の中から、次年度の運営委員・指名委員候補者の推薦を12月20日までにお願いたします。運営委員の任期は1期2年で連続3期まで再選可能です。

指名委員は任期が1期1年で、成人会員から3人、運営委員から2人が選出され、次年度の運営委員・指名委員候補者を選考します。(指名委員会)

❖ 2017年度 標語聖句募集

来年度の活動の指針となる聖句を募集しています。メール・FAX・郵送などで1月9日までにお届けください。(運営委員会)

2016年度

神戸YWCA定期会員集会は
2017年3月11日(土)です。

協賛企業の皆さま

味の素(株)/伊那食品工業(株)/(株) 上野商店/江崎グリコ(株)/エム・シー・シー食品(株)/鯉節のカネイ(株)/(株) 神戸風月堂/生活協同組合コープこうべ/高嶋酒類食品(株)/林商店(神戸南京町)/持田ヘルスケア(株)/六甲バター(株)

出店いただいたみなさま

飛鳥工房/いちじま丹波太郎/共同作業所シティライト/kuli-kuli/神戸カメックス/さをり織り/森風社/ファンファーレ/宝光堂/ほっとすてーしょん/one village one earth

ご協力に感謝いたします。

私は今、神戸YWCAまごの手や保育園で子育て支援の仕事をしている。子育てのしんどさが少しでも楽になるようにと願い、自分にとってやりがいのある仕事で自分らしさを発揮でき、感謝している。目や耳に入るYWCAの活動に、過ぎて来た道の一片をふと思ひ出したりしながら。YWCAと私の関わりは、始まったばかりだ。(藤原 道子)

私が子育てをしていた時は専業主婦だったので、PTAやコープの委員を頼まれては断れず、行事やイベントの折に、空襲の語り部のお話や絵を見聴きしたり、ベアテさんの講演を聴いて憲法を学んだりした。大阪YWCAの金香百合さんの、女性がテーマの講演も聴いた。

小学生の頃、日曜の朝は近所の教会の日曜学校に三姉妹で通っていた(父も母もクリスチャンではないが)。子どもは私たちを含めて6人位だったが、先生と一緒に祈りをし、聖書の一節を読み、讃美歌を歌い、可愛い絵のカードをもらった。「あなたの隣人を愛しなさい」等、短い言葉が記されていた。日曜学校のクリスマス会では、イエス・キリスト生誕の寸劇をした。私が6年生の時は、マリア様の役だった。中学生になると軟庭部の部活に忙しく、教会には行かなくなった。



小学生の頃、日曜の朝は近所の教会の日曜学校に三姉妹で通っていた(父も母もクリスチャンではないが)。子どもは私たちを含めて6人位だったが、先生と一緒に祈りをし、聖書の一節を読み、讃美歌を歌い、可愛い絵のカードをもらった。「あなたの隣人を愛しなさい」等、短い言葉が記されていた。日曜学校のクリスマス会では、イエス・キリスト生誕の寸劇をした。私が6年生の時は、マリア様の役だった。中学生になると軟庭部の部活に忙しく、教会には行かなくなった。

神戸YWCAへの おさそい

神戸YWCA **本館**：神戸市中央区二宮町 1-12-10 tel. 078-231-6201
 神戸YWCA **分室**：神戸市中央区坂口通 5-2-16 tel. 078-221-5111

●わいわい科学クラブ (小学生対象) **本館**

「くらしが関西プラン『電気と化学でぬりえをしよう』
 12月17日(土) ①10～12時②14～16時
 参加費 1回300円 (低学年児は大人と一緒に参加のこと)

1月21日(土)「静電気の実験をたのしもう」
 ①10時～11時30分②13時～14時30分
 参加費 1回200円

●カフェもぐもぐ **分室**

若年性認知症の人と仲間たちのカフェ。
 12月3日(土)・1月7日(土) 10時30分～15時
 参加費 300円 *昼食はカレーを作って食べます(要予約、別途食事材料代が必要)。
 *12/3は昼食後本館へ移動し神戸YWCA クリスマスに参加。

●聖書を読む会 **本館**

12月8日(木) 13時30分～15時

参加費 500円(1回)

●讚美歌を歌おうかい **本館**

12月8日(木) 15時～16時
 参加費 500円(1回)

●いま会いたい、私らしく生きる女性たち **本館**

12月10日(土) 15時～
 ゲスト 松岡京子さん(姫路ガ/ハイゲストハウス)
 1月28日(土) 15時～
 ゲスト 井上保子さん(株式会社宝塚すみれ発電)

●文学講座 **本館**

12月20日(火)・1月17日(火)
 13時30分～15時30分
 『徒然草』を読む
 参加費 500円(1回)

2016年度の会費を
 まだお納め頂いていない方は、お早めに
 お願いいたします!

冬季休館のお知らせ

本館 2016年12月29日(木)～2017年1月5日(木)まで(まごの手・保育園を除く)
分室 2016年12月23日(金・祝)～2017年1月5日(木)まで



クリスマス募金の お願い

神戸YWCAの働きに加えて、私たちが思いを連ねる諸団体の活動のために用いる予定です。皆さまのご協力を心よりお願いいたします。

【報告】▶全国会員総会出席者 ▶秋のバザーふりかえり▶新しい活動づくり進捗。

【議事】▶2017年度神戸YWCAビジョンと活動目標の決定▶日本Y『核兵器禁止条約』制定交渉開始決議に反対した日本政府に対しての抗議声明」に賛同。

(書記・野村 春美)

■ 理事会報告

10月17日(月) 第2回まごの手未来プロジェクト。10月24日(月) 第4回理事会。財政について検討。

(総幹事・寺内 真子)

■ 新入会員

坂本 雅子 (敬称略)

■ 賛助員

大前 崇介 モーア ウィリアム (敬称略)

■ 編集後記

米国の新大統領でどう世界が変わるか。不安を覚える新しい年である。(S・T)

■ 学院だより

日本語コースの就業カスキルアップコースは残り1か月となり、職場見学、日本事情、ITなどの授業が始まっている。履歴書と職務経歴書を作成し、就職活動準備を進める。

日教養コースでは、11月12日から「日本語ボランティア養成講座」を開講。

文化教養コースピアノクラスでは、12月4日(日)14時から、年に1度の発表会「小さなコンサート」を開催する。(原田 雅子)

■ まごの手だより

まごの手では、身体や視覚や心に障がいのある方の手助けをしています。時にものの見方、考え方に違いが生じることがありますが、その時は全てを受け止め(受容)、相手の立場で見て考え判断して、互いの信頼関係を築いて克服しています。

楽しく心豊かな生活をおくり、社会参加ができるよう手助けしています。また移動支

援では一緒に楽しい時間を過ごせればと活動しています。(まごの手ヘルパー・島村 正)

■ 分室だより

「ふるふる」が生まれ変わり「くるくる」へ!

12月15日(木)リサイクルショップ「くるくる」がオープンします(毎月第3木曜日13～15時30分)。地域の資源(他の人に使ってほしいと思う物、地域のために用いたいと思っている自分の力)が、地域の中で循環していく様子をイメージしました。木曜カフェ同様に、どうぞよろしくお願ひします!(西本 玲子)

■ 保育園だより

10月、たっぷり歩いて、公園で遊んで、おにぎりをみんなでおきました。また別の日、1・2歳児はゆっくり歩いて、友愛幼児園に遊びに行きました。たくさんのお友だちに会えました。毎日一緒にいても、大きくなっているとわかる子

どもたちです。

(園長・梅川 玲子)

■ 運営委員会報告

(10月)

【報告】▶バザー中間報告▶フェス進捗状況(4月29日実施予定)▶3市Y交流会(1月14日予定)▶全国会員総会①憲法出前を実施②日本Y運営委員候補者を神戸Yから2人推薦。

【議事】▶下半期スケジュール確認▶定期会員集会の議事検討▶次年度ビジョン、活動目標、組織図検討。(11月)

3市YWCA交流会 (大阪・京都・神戸)

日時：2017年1月14日(土) 14:30～17:00

場所：大阪YWCA

参加費：1,000円(お好み焼きの昼食付)

<プログラム>

☆13:30～ プレ3市Y交流会「お好み焼いても

Y焼くな～お好み焼きは人をつなぐ～」

☆熊本YWCAからの報告 ☆各YWCAの活動紹介

ゴーフル®
 いいものは時代をこえて
 生き続けます

神戸風月堂
 本社 神戸市中央区元町通3丁目3-10 TEL(078)321-5555
 URL http://www.kobe-fugetsudo.co.jp

(有) 佐野葬祭
 代表取締役 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)

いーく に みく に
0120-592-392 (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます
 尼崎市潮江4丁目2-2
 URL: http://sanosousai.com